



## 福島県の児童養護施設の子どもの健康を考える会 ニュースレター

### 1. 児童養護施設での新型コロナ感染予防対策を支援しています

現在、本会は子どもと対面する活動を見合わせながら児童養護施設と情報交換は続けています。

6月には品薄になった消毒薬を入れるスプレーボトル(霧吹き)、非接触性の体温計を必要な施設に贈呈し、8月には、NTKセラミック株式会社から、感染疑いの子どもがいる場合に職員が感染予防のために着用するPPE(個人防護衣Personal Protective Equipment)の寄付を頂きました。これを機会に、マスク、防護衣、手袋、フェースシールド、靴カバーを揃えて、着脱順番や方法、捨て方を図解(一部日本赤十字豊田看護大学「病院実習感染対策マニュアル」から引用)して冊子にまとめて、衣装ケース一箱の中に入れて、県内2カ所の児童養護施設(青葉学園、堀川愛生園)に設置しました。

(写真)

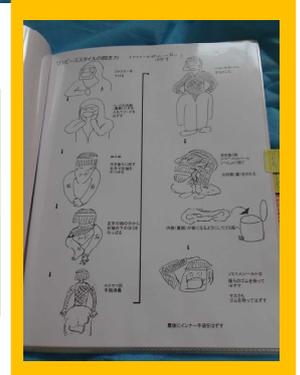
一箱にまとめてあるので、他の施設で必要になった時にはその施設へ輸送し活用するよう依頼しています。

### 2. 児童養護施設の感染リスク

児童養護施設で生活する子どもが感染した場合、集団生活であることからクラスターになる可能性が高いです。感染しても子どもを家庭に帰せず、感染が疑われた場合、施設の中で疑いある子どもを隔離して特定の職員が世話をし経過を観察することになります。家庭に帰せない子ども達を、児童養護施設でどう守るかに直面しているのは、原発事故後や災害発生時と同様です。

これに加えて、厚労省がまとめた“保護者が新型コロナウイルスに感染した事により入院した場合などの対応などに関するQ&A(2020年3月23日)”では、親が入院したときの子どもを預かる先として児童養護施設が想定されていま

万一、感染疑いの子どもが出た場合の児童養護施設における対策をお手伝いしています。



す。これは子育てが困難なときに一時保護をして子どもが短期入所できる機能を使ったものでした。実際に福島で感染者の子どもが施設に入所したケースはないのですが、入所児童の感染予防と、学校閉鎖の期間は24時間体制での子どもの世話に加えて、感染者の子どもの一時保護機能が想定されるので児童養護施設のご苦労は大きいと考えます。

現在もなお感染リスクが高く、子どもと家族との面会の制限は継続し、同時に職員自身も感染予防を徹底した生活を続けています。児童養護施設の職員も医療従事者等と同様、エッセンシャルワーカーに含まれると思います。

### 3. これまでの事業の継続

#### 1) 研修会

2016年から連続して開催している「発達障がいの子どもの特徴と対応方法」(講師：塩飽仁共同代表)の研修会を、10月13日に白河学園と東北大学を結んでオンラインで開催しました。入所児童に発達障がいの子どもの割合が増えている傾向があるので、職員は子どもの特徴を理解して養育することが求められています。

講義を聴きながら、職員は自分の担当の子どもと重ね合わせて、どうして子どもがその行動を取るのかを理解するのに役だったようです。さらに、「子どもが自己肯定感を持てるように認められて自信が持てるように、結果だけではなくプロセスを大切に、頑張ったり成功した時には、きちんと認めて褒めるようにしたいと思います」「困難な世界に生きている子ども達の理解が重要

ですね。あの子にはこのように活かしていこうと日々の子どもの良い関わりを目指したいと思います」「褒めることの効果を再確認して、褒める場面をどう作るか、注意を促す場面は他の子どもには見えない場所で、わかりました」といった感想が聞かれました。

今後もコロナ禍で研修の機会が限られているので、県内の児童養護施設向けにこの研修会をオンデマンドでも視聴できるよう整備しています。



#### 2) 放射能の測定

児童養護施設2施設で、子どもの生活するホーム、地域小規模ホームの測定を2012年以来継続しています。ニュースレター16号(2018年6月)でお知らせした原子力規制委員会が、県の設置した放射線モニタリングポストを2021年3月までに順次撤去する方針は撤回されて、現在も計測を続けています。屋外での線量計の数値は、ほとんど下がらなくなっています。なぜなら既に放射性物質を減らすための対策となる除染やコンクリート敷きによる遮蔽を終えて、自然減衰も微量になってきたためです。

また食品放射能測定は、「福島県児童福祉施設等給食検査体制整備事業」により2012年度から開始され、「食品放射能測定器」の借用、「給食用食材の代金：測定する食品は廃棄するためその費用」「検査要員費：手順が複雑な測定に従事する人の人件費」を拠出して、継続されています。測定する食品の形態は、食材なのか、調理した食事なのかは施設が決めていますが、食の安全が確保されています。本会は食品放射能測定室の建設でドナーとのマッチングを行うことにより施設を支援してきました。



2016年2月 : 0.142 μSV/H



2017年11月 : 0.121 μSV/H



2020年11月 0.106 μSV/H



### 3) 甲状腺検査

本会では2012年以来、2年に1回、公費負担の県民健康調査「甲状腺検査」が実施されない年度に、県内6施設で実施し、本年度は3施設で実施予定でした。来年3月で児童養護施設を卒園予定の高校3年生がいる2施設を訪ねて8月に2施設で検査をしました。感染予防対策のために検査者は防護衣等を着用して、検査中の会話を無くしました。そのため、本会が今まで大切にしてきた子どもへの説明は施設の看護師などに依頼して、万全を尽くしました。結果もテレビ電話で伝えるなど、直接接触するのを極力避けました。他1施設では、卒園生の検査を近隣の専門クリニックで実施しました。

今回、高校生と一緒に検査を受けた児童養護施設の職員は、高校2年生で東日本大震災に遭遇して高校3年生では県民健康調査「甲状腺検査」の該当市町村ではなく、その後20歳25歳と節目検診の機会がありました。昨年25歳の時に県の検査を申し込んだのですが、指定された日時は勤務と重なり検査を受けに行けませんでした。このように職員が希望しながら検査を受けられないことがわかりました。

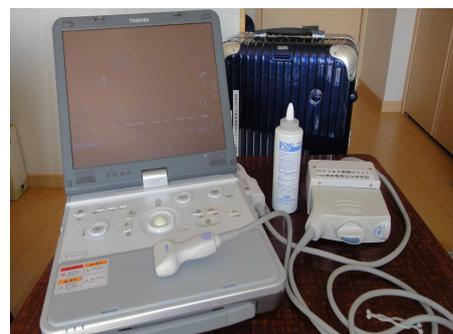
県民健康調査「甲状腺検査25歳節目検査」は2020年3月31日現在、平成4年～6年生まれの対象66,637人に対して、検査を受けたのは5,578人、受検率8.4%で、2019年12月31日時点の平成4、5年生まれの受検率9.6%、(ニュースレター20号,2020年7月,P3参照)よりも下がっています。この受検率の低さの背景には、検査を希望しながらも受けられないでいる対象もいた事がわかり、高校卒業後に検査が受けられない人がいることに策を講じる必要があります。

新型コロナウイルス感染症予防のために、学校を会場に行われる県の検査は本年2月～8月まで中止していましたが、9月から再開されました。感染予防を図っての実施なので、2020年度から始まった5巡目の検査は、当初、399校(88,000

人)実施予定が、142校(17,600人)に変更されました。このため県の検査は2年以上の間隔が開く可能性があります。県民健康調査が定期的、継続的に行われることが危ぶまれる中で、本会では成長期の子どもの甲状腺の状態を、可能な方法で検査し続けていく予定です。感染のリスクがなくなるまでは、県内の医療機関を利用して、数年後に感染症対策が一般化してから再度検査体制を整えて、施設の子どもの全員の検査を定期的実施したいと計画しています。そのためにも、弊会が所有している甲状腺エコー検査に用いる超音波診断装置の保守点検を続ける必要があります(ニュースレター19号,2019年12月,P3)保守点検費用が捻出できるよう、皆様からのご支援を改めてお願いする次第です。

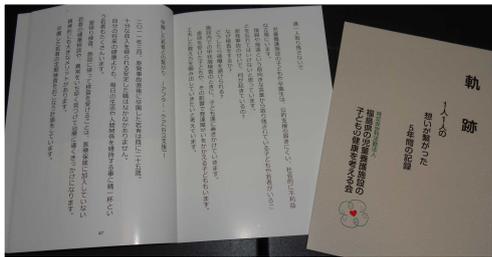
本会は公的なシステムでも漏れ落ちる可能性が高い子どもや若者の支援を役割と考えて、9年間福島に事務所を置いて活動をしてきました。そして、万一、健康被害が出てきたときの早期発見、被曝による健康被害か否かのデータ蓄積により医療補償につなげられる仕組み(健康手帳電子化システム等)を作っています。そのためには長期的な視野に立ち、施設を卒園した後、自分で健康管理をしなければならない若者の支援に発展させているところです。

コロナ禍で様々な制約を受けていますが、原発事故があったこと、被曝していることを無かったことにされないために、児童養護施設で育った子どもがこれ以上の不利益を受けないために、皆様の思いをこの先も繋いでいきたいと考えています。



## 4. 卒園した若者達のための「すこやか会ふくしま」

本会の5年間の記録をまとめた小冊「軌跡」において「これからの活動」として、卒園した若者との繋がり—アフターケア(自立支援)—を課題としました。そして、2019年12月に児童養護施設を退所した若者の健康被害を考えることを目的に、「一般社団法人 すこやか会ふくしま」を設立しました。



この法人は福島県の児童養護施設を退所した人を対象に、健康の増進と東京電力福島第1原子力発電所事故による健康被害の予防・早期発見と療養支援として、早期発見のための甲状腺検査をはじめとする検診、及び健康被害発生時の治療支援と療養環境支援・コーディネーション事業を行うことを目的としています。

これまでの卒園生支援は、2014年以来甲状腺検査を児童養護施設で実施する日に、卒園生が来て検査を受けてもらっています。交通費を補助することで、卒園・退所した若者が施設に顔を見せる機会となり、職員そして後輩の子ども達と交流も持てました。また同じ施設で育った子どもが集まる機会を提供できました。一方、集まることで様々な影響もあることから、卒園した若者を呼ばない施設もありました。このような経験から、施設を会場にした検査には課題があることがわかりました。

その他に、健康手帳を高校生が卒園する時ではなく、卒園して半年くらい経過してから、生活の様子を確認しながら職員が訪問、健康手帳を渡す事業を2014年から開始しました。本会は、職員が訪問する交通費を補助していましたが、この職

員訪問は、福島県が2018年4月から「こどもの巣立ち見守り事業」で制度化しました。22歳まで(大学生は卒業まで)の、リービングケア(退所を控えた子どもの自立生活への準備)と、アフターケア(退所した児童の居住、家庭、交友関係、将来への不安・生活上の問題及び就学と生活両立に関する問題の相談、専門機関への連携・同行支援、職場との連携、進路、求職活動、気楽に集まれる場の提供等)の費用が県から出るようになりました。本会は、リービング・アフターケア等を県に報告をするため書類の記録様式を、日本ルーテル教団“東日本大震災対策”で開発したソフトウェアすこやか日誌(健康手帳電子化システム搭載)の中に追加開発しました。(詳細はニュースレター17号,2018年12月,P3)

このような実績を踏まえて、今後2011年3月に児童養護施設に在籍していた全ての子どもが、児童養護施設を退所、卒園する2028年以降も継続的に施設に在籍していた人の検診や健康相談に応じることができるよう、「一般社団法人 すこやか会ふくしま」を設立しました。この法人は、前出のソフトウェアの著作権を所有しておりライセンス料を主に、さらに寄付を収入として活動を始めています。しかし、卒園生を対象とした甲状腺検査は感染予防、移動自粛により開催できなくなり、今年度は集合型ではなく各施設ごとの自立支援教育(施設を出る前に一人暮らしのための準備、スーツ購入支援など)を行っています。

コロナ禍で児童養護施設卒園生が経済的な困難に見舞われている事が心配され、実態調査や食糧を支給する支援、家賃補助を、全国展開している施設の退所者支援団体が行っています。また国では、児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業の運用を改善して内定を取り消されて就業できない、また就業継続が難しくなった退所者に家賃を貸し付ける制度もできたようです。

## 5. 中間貯蔵施設への除去土壌輸送

巻頭と右下の写真は、事務所近くの住宅、庭を除染した土をフレコンバックに入れて地中に埋めていたのを掘り起こして中間貯蔵施設(大熊町、双葉町)に運ぶ様子です。本年9月現在、福島市内の住宅からの搬出は101%(78, 567件/現場保管77, 772件)が完了、公共施設は54.3%(うち学校は100%)、生活圏森林89.7%が完了していません。県内の児童養護施設では、2017年から地中に埋めたフレコンバックの掘り出しをされましたが、帰還困難地域を除いて終了するのは来年度末の予定です。

ニュースレター18号の巻頭の写真は、汚染された除去土壌を運ぶトラックでした。1日に約2800台のトラックが福島県内を走り事故も多発しています。コロナ禍でも、この作業は続けられています。今年9月の地域の求人広告には、掘り起こし作業に関わる求人が出ていました。(写真右上)

**フレコン仮置き場スタッフ**  
(掘り起こし作業ではありません)

仕事内容 フレコン仮置き場内バックの玉掛けや積み込みの補助作業

日給9,000円～10,000円(昇給あり)  
(交通費含む) 毎月25日払い

月給210,000円程度(23日出勤換算)

勤務地/福島県大より車20分！指定現場  
年齢/60歳迄(定年による為)  
資格/実習生、未経験OK、玉掛け可  
移動/遠行遠帰(マイカー通勤) 本誌掲載  
勤務します  
時間/勤務日  
現場集合9:00～9:30 作業開始7:00  
作業終了15:00～18:00  
休憩時間60分、いっぶく休憩15分  
休日/毎週日曜と隔週土曜・土曜日のお休みもあります  
待遇/各種保険完備、制服貸出、玉掛資格補助  
応募/お電話にてお電話を！留守電の場合は、名刺と連絡先  
を残してください。こちらから折り返し致します。  
★お仕事拡大に付き9月より増員募集★



## 6. 廃炉はどこまで進んでいるのか

ニュースレター20号でお知らせした処理水の放出方針は、2020年10月末までに海洋放出か大気放出かの決定をする予定が先送りになっています。福島県のみならず、全国の漁連が政府に海洋放出を中止するよう嘆願しています。これは風評被害以外に、この処理水には、トリチウム以外にβ線を放出する放射性物質が含まれていることがわかっているからでもあります。

2018年、トリチウムしか残っていないと考えられていた貯蔵タンク内の処理水に、法定告示濃度を超えるヨウ素129やストロンチウム90などが含まれていたことわかりました。東京電力が定期的に処理水を採取し、放射性物質の濃度を“全ベータ測定”と“核種分析”の2つの方法で分析しているのに、同年10月にわかったのに、2019年1月17日まで公表に時間がかかったことで、さらなる不信を招いています。

この混入はALPSを使って全核種の放射線量を法定告示濃度まで除染すると時間がかかるため、タンクにひとまず下げて保管されていたもので、そうした処理水が含まれていたため起きたようです。

廃炉の過程も、注意深く情報を集めていかないと、さらに想定外のことが起きています。

福島第一原発の3号機では、原子炉建屋内の使用済み燃料プール566体の核燃料を、今年度中にすべて取り出す計画です。既に前回のニュースレター20号でお知らせしたように今年3月から

2ヶ月間中断していたのですが、9月2日に再び中断。機器のケーブルがプール壁面に引っかかり損傷したのを修理して、その他の機器も点検を終えて10月8日に再開しました。

これに先立つ10月5日、油入りの変圧器4台の火災予防条例に基づく届け出をしていなかったと発表しています。2号機プールからの核燃料取り出しに向けた作業スペースを確保するため、2015年に変圧器を絶縁油を抜かないまま1・2号機超高圧開閉所に移動していたのに、これを届けていませんでした。その後、変圧器の中に入っている計560リットルの油を抜き取りました。

さらに11月18日、3号機では使用済み核燃料を入れて運ぶための容器をつり上げる装置が、上方向に動かなくなり燃料プールに入らなくなるトラブルが起きて燃料取り出しを中止しています。モーターの電源回路の異常があることがわかり、東京電力は部品交換すると発表しました。この時点で、3号機の使用済み燃料プールには、132体の核燃料が残っています。東京電力は、プール内のがれきを取り除く等別の作業を先に進めるとしていますが、故障が長引けば今年度中(2021年3月)の完了時期が遅れる可能性があります。

年賀状の書き損じはがきをはじめ、タンスや押し入れ、クローゼットに眠っている未使用の切手や古いはがきなどをご寄付頂けると大変助かります。これまでのご支援への感謝すると共に、引き続きご支援をお願い申し上げます。

このニュースレターは、はらからの歌声 ライブのご寄付で印刷しています

### 会費納入、寄付・未使用切手などのご寄付を頂いた皆様 (敬称略 順不同)

2020年6月21日～2020年11月30日

日本キリスト教団大泉教会、沢知恵チャリティライブ：山のハム工房グローバル ライブ会場、はらからの歌声 ライブ  
青島 敏行、荒木 暁子、石原 昌子、池田 むつみ、稲福 祐子、岩田 千鶴子、臼井 美帆子、内丸 ちづ子、海老澤 のり子、蝦名 美智子、大江 浩、太田 綾子、大橋 めぐみ、大塚 千織、小川 昌之、小此木 隆雄・眞知子、片岡 安子、金子 みどり、神津 陽子、国武 和子、小松 美穂子、齋藤 泰子、齋藤 みき子、澤田 稔、柴田 恵子、白鳥 まゆみ、鈴木 敏夫、田口 恵美子、高橋 明男、高柳 充子、高山 喜美子、竹中 眞美子、長島 令子、鳴海 喜代子、深野 善人、前島 忻治、前村 恵、増田 高子、松原 悦子、丸 光恵、三谷 美香、三原 翠、宮武 薫、村田 貴志子、村本 淳子、安江 真佐子、山崎 慶子、山元 由美子、湯浅 資之、吉田 妙子、吉村 勉、匿名(5名)

過去のニュースレターはホームページでご覧頂けます

<http://www.fukujidou.org>

福島県の児童養護施設の子どもの健康を考える会

Foster Care for **I**nfants, **C**hildren and **A**dolescents in FUKUSHIMA

略称はICA福子(いからくこ)といひます。



共同代表 澤田 和美 (福島事務所 事務局長)

塩飽 仁 (東北大学大学院 小児看護学 教授)

副代表 丸 光恵 (甲南女子大学大学院 看護リハビリテーション学部 教授)

事務所住所・連絡先 〒960-8055 福島市野田町6-4-74-5 メゾンオープンC203  
e-mail: fukujidou@yahoo.co.jp 電話・FAX: 024-573-2939

お振込先

♡ゆうちょ銀行

店名: 二二九店(店番号229)

種類: 当座預金

番号: 02220-2-118684

名称: 福島児童養護施設の子どもを考える会

♡大東銀行

店名: 福島西支店(店番号047)

種類: 普通預金

番号: 1303901

名称: 福児童 代表 澤田和美

♡三井住友銀行

店名: 白山支店(店番号228)

種類: 普通

番号: 6854164

名称: 福児童 代表 澤田和美